

1990年(平成2年)

12月15日号

No. 580

広報あしや

芦屋市の人口と面積

—平成2年11月1日推計人口—

人口総数	88,077	世帯数	32,582
男	41,369		
女	46,708	面積	17.31km ²

発行

芦屋市役所(公聴広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

毎月1日・15日発行

年末年始のお知らせ

市役所は、年内28日まで



年末は窓口が混雑します
ご用はお早めに!

明るくゆったりとした雰囲気の新庁舎窓口

衛生部からの お知らせ

【火葬場】
〈年末〉十二月三十一日
〈年始〉一月一日(火)

は休業。二日(水)は平常業務。三日(木)は休業。四日(金)から平常業務。

【死骸の引き取り】
〈年末〉二十九日(土)から三十一日(月)までの受け付けは、午前九時から十時三十分まで。引き取り収容は、午前十一時から正午まで。
〈年始〉十二月三十一日(月)午前十時三十分から一月四日(金)までの受け付け分は、四日に収容。

▼死骸の引き取り手数料
〈大型犬〉(コリー、シエパード等)三千元。

〈中型犬〉(芝犬、マルチーズ等)二千五百円。

〈小型犬〉(チン、ポメラニアン等)二千元。猫、ウサギ等二千円。

問い合わせは、市衛生総務課(☎212121内線2602)へ。

年末年始の ごみの収集

燃えるごみ

曜日区分	年末(最終)	年始(最初)
月・水・金地区	12月30日(日)	1月4日(金)
火・木・土地区	12月29日(土)	1月5日(土)

燃えないごみ

収集地区	年末(最終)	年始(最初)
月曜日地区	12月24日(月)	1月7日(月)
火曜日地区	12月25日(火)	1月8日(火)
水曜日地区	12月26日(水)	1月9日(水)
木曜日地区	12月27日(木)	1月10日(木)
金曜日地区	12月28日(金)	1月11日(金)

不燃性資源ごみ(芦屋浜)

収集地区	年末(最終)	年始(最初)
浜風町	12月24日(月)	1月7日(月)
緑町	12月26日(水)	1月9日(水)
若葉町	12月28日(金)	1月7日(月)
高浜町	12月28日(金)	1月7日(月)
潮見町	12月28日(金)	1月11日(金)
新浜町	12月26日(水)	1月9日(水)

大型ごみ

年末は、12月28日(金)まで通常のサイクルで収集します。年始は、1月5日(土)から収集します。

年末の特別収集

申し込みは、12月25日(火)までに環境衛生課へ。収集最終日は、12月30日(日)です。

なお、12月26日(水)以降の受け付け分は、1月7日(月)の収集になる場合があります。

以上問い合わせは、市環境衛生課(☎2155)へ。

環境処理センターへの持ち込み

年末は、12月31日(月)正午まで(29日、30日は午後4時30分まで)。年始は、1月4日(金)午前9時から。

芦屋浜住宅団地パイプライン輸送

年末は、12月31日(月)正午まで。年始は、1月4日(金)午前9時から。

年末年始はふだんよりごみが多いため長時間投入できないことがあります。

特に、31日(月)は混雑が予想されますので30日(日)までに計画的に投入してください。

以上問い合わせは、市環境施設課(☎5391)へ。

年末年始カレンダー 12月23日～1月6日

公共施設	期日・曜日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1月	2日	3日	4日	5日	6日
市役所窓口	☎2121	■	■	□	□	□	□	■	■	■	■	■	■	□	□	■
ラポルテ市民サービスコーナー	☎3130	▲	▲	□	□	□	□	▲	▲	▲	■	■	▲	□	□	▲
市民センター	☎4995	□	□	■	□	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□
公民館図書室	☎4995	■	■	■	□	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	■
集会所(打出、竹園、朝日ヶ丘、潮見、奥池)		□	■	□	□	□	□	■	■	■	■	■	■	□	□	□
集会所(翠ヶ丘、前田、春日、浜風、西蔵)		□	□	□	■	□	□	■	■	■	■	■	■	□	□	□
体育館・青少年センター	☎8228	□	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□
図書館	☎2301	□	■	■	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□
図書館打出分室(打出教育文化センター内)	☎7220	■	■	■	□	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	■
福祉会館・老人福祉会館	☎7530	■	■	■	□	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□
老人憩いの家(大原、三条)		■	■	■	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□	■
谷崎潤一郎記念館	☎5852	□	□	■	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□
打出教育文化センター	☎7130	■	■	□	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□

[注] 図書館打出分室は、12月17日(月)から開館。火・木・日曜日、祝日、年末年始休館。

歴史の流れを実感

年の瀬を迎える情報を受蔵します。私の年齢では開封に立ち会うことはできませんが、五十年後の市長に、街づくりの願いを込めてメッセージを送ります。それを託せるのは今の若い世代にあり、健康な緑の街を築き、福祉の充実をはかりながら、青少年の健全育成や学校教育の向上と充実に努めなければならぬと痛切に感じています。

全世帯にお配りしました写真集「芦屋のうつりかわり」は大変喜んでいただきました。今、私どもが感慨をもって写真集を見るように、百周年を迎える市民から、感謝さ



市長随想
健康とあり記
39

策をめぐり、平和問題を喚起しました。紀元二千六百年を祝い、軍国主義にひた走った昭和十五年に誕生した芦屋市が、五十年を祝う年に、平和への大きなうねりをひとしお感慨深く思うと同時に、天皇のご即位や大嘗祭がとり行われるに際して、自由に意見が言えるわが国の今日の政治を、五十年前には予想できなかったことだと思えます。

市制五十周年を祝う会が、業平公園に設置された記念モニュメントのタイムカプセルは、五十年後の市制百周年に開封されます。このカプセルには、芦屋の文化・芦屋の



市制50周年祝賀パレード



芦屋市の人権シンボルマーク

地域の衆知を集めた国際交流

—パラオ、フィリピン研修生とのふれあいを通して—



子供たちと一緒に弁当。片言の英語でコミュニケーション

ポーターレスといわれる時代、世界はますます小さくなってきています。こうした中で、日本にも多くの留学生や研修生が日本の文化や技術を学びに来日しています。本市でも、CCAや海技大学で研修に励みながら、地元の人々と交流を深めている若者の姿があります。これまで日本の船員の再教育に当たってきた海技大学では、「国際社会への貢献」にも役立つと、フィリピンから七十四人の研修生を受け入れた。本紙では宮川コミスクでの積極的な国際交流の取り組みを同コミスク会長細谷豊司さんにお聞きしました。

暗中模索の受け入れ準備

今年の八月末に海技大学から、呉川町、西蔵町、浜町の各自治会長へ、フィリピンから七十四人の研修生を受け入れるので、地元との協力をお願いしたいとの依頼を受けました。地元で相談の結果、十月二十八日に第二回宮川コミスクスポーツフェスティバルが開催されることになったので、交流を目的に研修生を招待することに決定しました。

このスポーツフェスティバルは、宮川コミスクの体育部が担当しています。そして実行委員会、各団体からの協力によって構成されています。

この時点で研修生はまだ芦屋市に来ておらず、果たして当日参加してくれるのかどうかと不安を持ちながら準備をすすめてきました。また、受け入れの方法も暗中模索です。海技大学からの情報では、会話は英語で行えること、そして、熱心なクリスチャンであるらしいとのことでした。ところが、開催日が日曜日であることになりました。

とから、教会の礼拝が優先され、参加してくれないのではという心配がでてきました。このように、課題は次々と出てきます。準備は、楽しく交流するにどうすれば良いかを重点に検討しました。その一つが、教育委員会などの協力を得て、研修生向けにプログラムとエントリー票を英語で作成。「救急」などの案内板は、日本語と英語を併記しました。当日は、宮川コミスクのスマイル英会話(代表久我和子さん)と、セイドー教育促進協会(船戸町)に、通訳をお願いすることにしました。

研修生だけで固まらないよう各町会チームごとに割り当ててもらおうことにしました。競技は、別対抗リレーと綱引きです。研修生からの申し出で、日本とフィリピンの対抗リレーと、フィリピン研修生同士が二手に別れて綱引きをする競技が追加されました。これも日本社会へ溶け込もうとする意欲の一端と受け止めていきました。

紅白の玉入れでは、彼等は肩車をし、後の一人が球を集めて渡す三人組みになって参加したのです。もちろんリレー違反ですが、彼らルールの知識で参加している姿をほほ笑ましく感じました。問題だったのは、昼ご飯の問題です。このスポーツフェスティバルには、各町から千人程が参加する人もいます。

親切にしてください、またいろいろと助けていただきました。例えば、マンツーマンで話しができ、個人的に「これは何」といろいろ聞いて多くの日本語を勉強することができました。

集まっている人たちが、子供から老人までとても幅広い層にまで広がっているのは大変意義深いことです。フィリピンにはバランガイ(村組織)というものが、コミスクはそれに似ていると思いましたが、子供から老人までとても幅広い層にまで広がっているのは大変意義深いことです。

電話料金の値下げにより、お客様へ還元します。お客さまへ還元します。お客さまへ還元します。お客さまへ還元します。

お客さまへ還元します。お客さまへ還元します。お客さまへ還元します。お客さまへ還元します。

街で見かけたら声をかけてください

兵庫県の招きでパラオ共和国から、CAATV技術の研修のため、八月から来年三月までの予定でCCA(ケーブルコミュニケーション芦屋)で撮影・編集・編成技術などを学んでいる、トウトイ・ラリさん(パラオ共和国)に日本で生活の印象などについてお尋ねしました。

日本とパラオでの生活面での違いは、パラオは小さな国なので、人々同士はお互いに良く知りあった土地柄です。日本は、大国です。次回来る時にはもっと日本のことについて学んでおきたいと思っています。

逆の良い印象は？日本の人は大変礼儀正しく、気持ちよく挨拶してくれ、お互いに知り合えるのにと思います。

研修生からは、お米が非常においしかったこと、コンニャクが、大変珍しかったこと、感想を聞いています。

私たちが日ごろ外国人なれしていないことを痛感し、地域社会での国際交流として、良い経験になったと思っています。

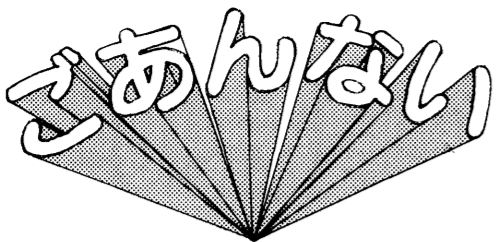
今後ともこのような国際交流に取り組んでいきたいと考えています。

外国人なれしていないことを痛感し、地域社会での国際交流として、良い経験になったと思っています。

外国人なれしていないことを痛感し、地域社会での国際交流として、良い経験になったと思っています。



CCAでの研修風景



募集まおんない。募集期間：12月21日まで。選考日：(1年コース)平成3年1月10日(3年コース)1月11日。授業料：無料。問い合わせ先：兵庫職業訓練校(☎0727②3210)。

神戸大学経済学部第2課程第3年次編入学生。出願期間：平成3年2月4日(月)～8日(金)。定員：20人。募集要項請求先：神戸大学経済学部第2課程掛(〒650神戸市灘区六甲台町2-1-1)。郵送のときは、住所、氏名、郵便番号を記入し、175円切手をはった返信用封筒(28×22センチ)を同封。問い合わせ先：神戸大学経済学部第2課程掛(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

対象：身体障害者手帳所持者(1級・6級)者。利用方法：身体障害者割引申請書に必要事項を記入のうえ、割引後の料金を送って乗務員にお渡しください。身体障害者手帳の提示がなければ、割引をうけられませんが、おまかせ申請書：タクシー内、または保護課問い合わせ先：保護課(☎0781811212)。

市民相談

無料相談。市内在勤、在住のかたなら国籍を問わず、どなたでも利用できます。電話予約制。毎週月曜日から9時から受付。ただし、人権・行政相談は、随時受付。

種類	相談日	相談内容
家事相談	毎週水曜日午後1時～	夫婦、親子、相続など家庭における問題
法律相談	毎週木曜日午後1時～	債権、借地・借家等法律にかかわる問題
人権相談	第2・4火曜日午後1時～	近隣とのトラブル、いやがらせ・差別等
行政相談	第3火曜日午後1時～	国・県・市行政への苦情、要望、意見

☐一般相談は、随時執務時間中受け付けます。問い合わせ 市生活文化課(☎2007)

市制施行50周年記念「新芦屋50景」フォトコンテスト作品展

11月11日(金)9:00～14日(月)15:00
会場 芦屋市民センター ロビーA
問い合わせ 市経済課商工観光係(☎2033)

芦屋市消防出初め式

1/6(日) 10:00～12:00
会場 川西運動場
内容 式典・演技・写真コンテスト・精道村ドラム演奏・記念撮影他
問い合わせ 市消防本部(☎2345)

写真集「芦屋のうつりかわり」はもう届きましたか

現在、市制施行50周年を記念して写真集「芦屋のうつりかわり」を全戸に配布しています。まだお手元に届かない場合は、25日(火)までに市公聴広報課(☎2006)へご連絡ください。ただし1世帯につき1部とさせていただきます。
市制施行50周年記念写真集「芦屋今むかし」「芦屋のうつりかわり」の頒布
精道村時代からの芦屋のようすをまとめた写真集2種類を頒布します。写真集「芦屋今むかし」(A4版、272ページ)が1部4,000円。写真集「芦屋のうつりかわり」(A4版、136ページ)が1部1,000円です。問い合わせは、市公聴広報課(☎2006)へ。

104の番号案内サービスが有料になったが？

電話料金の値下げにより、お客様へ還元します。お客さまへ還元します。お客さまへ還元します。

教育委員会40年のあゆみ

十二月一日に教育委員会が設置されて四十年目の誕生日を迎え、この日を記念して打出教育文化センターの落成式をしました。今号では、教育のこの四十年のあゆみについてふりかえってみましょう。

教育委員会の発足の

戦後の教育は、昭和二十一年十一月に公布された日本国憲法と翌年三月に施行された教育基本法によって行われてきました。この戦後の新しい教育の方針を具体的に生かす制度として、公選制の教育委員会が芦屋市においては昭和二十五年十二月一日に発足しました。その後、教育の政治的中立と安定、一般行政と教育行政との調和、国、県、市の連携をはかるた

学校施設の復興への

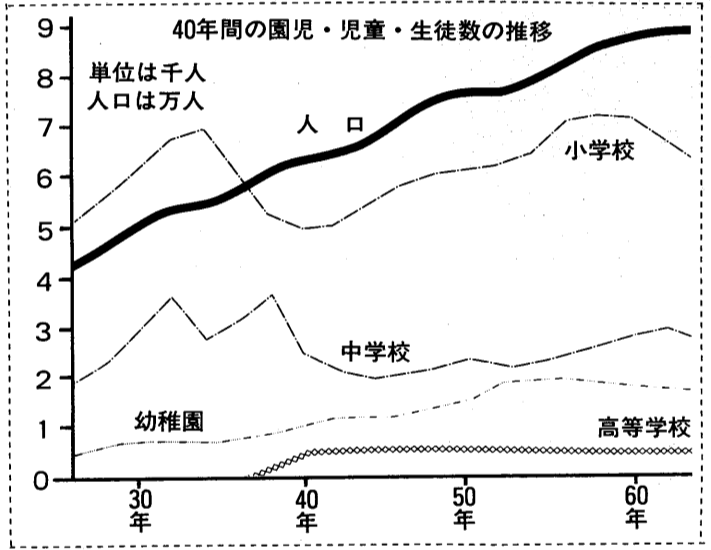
昭和二十二年の教育基本法・学校教育法の施行によりいわゆる六・三制が実施され、わが国の学校の制度が抜本的に改革されました。戦災による小学校校舎の復旧が急がれる上に、精道・山手の新制二中学校を新設するなど、この改革にとも

児童生徒数の移りかわり

この四十年間の市立の学校の子ども数の推移はグラフのとおりです。これを見ると、人口



▲花があふれる学校(三条小学校)
▼多彩な行事のコミスク活動(山手コミスク夏まつり)

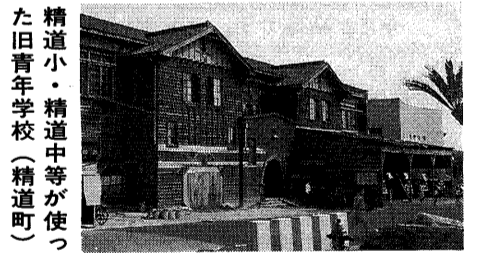


社会教育の充実

社会教育施設では、教育委員会発足当時は開設されていません。コミュニ



学校としても使われた
芦屋公会堂(業平町)



精道小・精道中等が使った
旧青年学校(精道町)

むか

さされたばかりの図書館のみでしたが、昭和二十八年に公民館(市民会館)、市民運動場(川西町)を設置し、現在では、体育館・青少年センター、美術館・青年センター、美術博物館など六つの機関とプールやテニスコートなど十の施設が増加しました。

さらに学校教育の充実へ

ますます多様化する社会生活のなかで、これからは学校・家庭・地域社会が連携を密にし、時代の変化に対応しながら、生涯学習体系へ移行していくことが今日の課題と なっています。二十一世紀に生きる子どもたちには、情報化、多様化、国際化などの社会の変化に自ら対応できるように、自ら学ぶ意欲

その言葉 言われた身となり 考えよう

山手中学校 1年 塚谷 由美子
(「差別をなくそう県民運動」応募作品)

このページは市教育委員会で編集しています。このページについてのおたずねは、市教育委員会 総務課(☎2085)まで。

第I部「音楽で絵が描ける？」

1. 小舟にて ドビュッシー
2. 白鳥の湖より「情景」他.....チャイコフスキー
3. 音にも色があるの？(楽器のお話)
4. あなたもマエストロ！(1分間指揮者コーナー)
5. モルダウ スメタナ

第II部「ゴージュと楽しい仲間たち」
宮澤賢治原作「セロ弾きのゴージュ」
..... 詩・曲 宮澤賢治 間宮芳生

ファミリーコンサート

2月10日(日) AM10:30, PM2:00

入場料金【前売】

- 小人(4才以上) ¥1,300
- 大人 ¥1,800
- 親子ペア券 ¥2,500

(当日は¥100増しとなります)

(前売券売り切れの場合は当日券は販売いたしません)

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。 ※前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。

▷問い合わせ先
ルナ・ホール協会
業平町8-24
(☎31-4962)